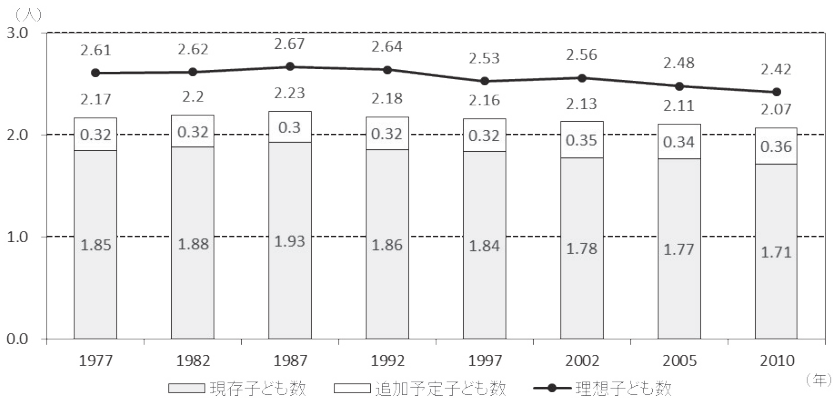


●子どもを持ちたいという希望

2010年「出生動向基本調査」では、夫婦にたずねた理想的な子どもの数は2.42人、夫婦が実際に持つつもりの子どもの数は2.07人となっているが、1970～90年代の理想子ども数は約2.6人でほとんど変化がなく、1990～2000年代に若干下がっている。実際、合計特殊出生率は1.3～1.4であり、理想の子ども数との差が大きく、かつ開いていることから、子どもを持ちたいという希望がかなえられることが大切である。

＜図表 3-1-1-4 平均理想子ども数と平均予定子ども数の推移＞



(備考) 国立社会保障・人口問題研究所「出生動向基本調査」